

地域の現状と課題

商店街が活性化に向けて取り組んでいるが、周辺地域に豊富にある地域資源及び集客力の高い大型店を有効に活用しておらず、商店街への人の流れが減少し、空き店舗が増加する悪循環により、商店街の活性化の糸口が見えてこない。

○取組のねらい・実施主体間の連携等

商店街が大学、市民と共同で八尾市の魅力である、歴史文化や地場産品などの地域資源を活用した事業に取り組むことにより、商店街への来街者の拡大を図るとともに、市民に八尾市の魅力を再発見してもらう。併せて、行政が行う商店街支援策の効果的な実施を検討する。

○主な取組

取組(1)「商業振興に関する検討」

- ①ヒアリングを中心に具体的な課題を掘り起こし、今後の活性化方策について検討を行う。
- ②ニーズに基づく効果的な施策の運営に繋がる。(商業アドバイザー制度の創設、地域通貨事業の検討等)

取組(2)「商店街情報発信」

- ①八尾市の商店街を紹介するリーフレットを作成し、ホームページを活用しながら商店街と周辺の都市魅力を発信することにより、来街者の流入を促進する。
- ②大型店等周辺部からの誘導ルートの策定に繋がる。

取組(3)「空き店舗の活用による魅力づくり」

- ①特産物の直売、体験教室等の検討を行う。また、チャレンジショップへの活用について検討を行い、今後の施策展開に繋げる。
- ②商店街の魅力向上により、空き店舗の再生に繋がる。

取組(4)「八尾の歴史再発見」

- ①お逮夜市と周辺の歴史資源等活用し、歴史散策等を組み合わせるなど商店街が地域資源を活用して自立運営できるシステムの構築を検討する。
- ②昔の賑わいを取り戻すとともに市民に八尾市の歴史を再認識させ、集客に結び付ける。

市民が八尾市に親しみを持つことによる市内商店街への回帰及び大型店を活用した周辺地域からの集客により、来街者の増加を図り、商店街の活性化をめざす。